

公表:平成 年 月 日

事業所名 ほのぼの

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			* スタッフ配置人数を3~4名体制で行なっている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			* 車椅子のまま活動に参加出来るようになっております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			* 毎日掃除を行い少なくとも週に1回は施設内除菌作業を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			* 目標設定やOJTノートを活用してそれぞれの支援のありかたを確認し、グループワークの中で改善点を話し合っていて決めております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いたご意見については真摯に受け止め、出来ることは対応して参りたいと考えています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			* ホームページで公開	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			* 社内研修/外部研修の実施(社内研修月2~3回)	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			日々の活動から得られる情報と保護者様との面談及び支援者会議等で得られた情報を基に、将来を見据えた支援になるよう計画しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか					
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			職員間情報共有を行い計画に沿った支援を行っています。	

	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			* 2ヶ月に1回プログラム会議を実施
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			* 2ヶ月に1回プログラム会議を実施
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			お子様の状況に合わせ計画に入れています
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			* 毎日シェアカンファを行なっています
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			* 毎日シェアカンファを行なっています
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動の記録は必ず記載するようになっております。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本年に1～2回でモニタリングを行ない、緊急性がある場合は家庭訪問等を実施し修正や見直しを行うよう努めています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席させていただいております。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		保護者様からご要望があれば対応いたします。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	医療ケアが必要な児童の受け入れは行っておりません
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	医療ケアが必要な児童の受け入れは行っておりません
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	ご要望があった際には対応いたします
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者様の意向にもよりますが、未就学や一年生のお子様に関して、情報共有を致します。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修会に参加しております
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	保護者様の意向もあり、活動は行っておりませんでした。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			代表が札幌市自立支援協議会西区部会構成員です。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や連絡帳により情報交換に努めています。また送迎時にもその日にあった出来事を報告させて頂き、情報は保管し、職員間でもシェアさせて頂いております
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		ご相談頂いた件に関し助言させて頂いたり、家庭訪問をして相談にのることはありましたが、積極的に行えておりません
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の際に説明させて頂いております
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			○ご相談いただいた案件に関しては、真摯に対応させて頂き、居宅チームと連携し対応させて頂く場合もあります。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	年に数回セミナーは実施しておりますが、親の会や勉強会など少しずつでも行っていけるように、計画していきたいと考えています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご相談頂いた件に関し助言させて頂いたり、家庭訪問をして相談にのることがあります。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2ヶ月に1回日頃の活動内容を記載した通信を配布させて頂いております。プログラムに関しましても2ヶ月分記載したものを配布させて頂いております。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			配慮の必要なお子様には絵カードやマカトンサインを利用し意思疎通を図る場合があります。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後検討していきたいと思っています。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童も含め年に2回の避難訓練を行っていますが、当日参加出来ないお子様もいらっしゃいます
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時、発作時の対応等詳しく打ち合わせを行い、職員間で発作時の対応が出来るようにシェアを行っています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		○		* アレルギーの確認は保護者様にさせて頂いておりますが、基本食事提供をしていませんので指示書は頂いておりません
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			* 年2回社内で虐待研修を行っており、入社時には必ずOFFJTで伝えております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束を必要な児童がおりませんが、必要が生じた場合は十分に説明し了解を得た上で対応していきます

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。